

図書館だより



no.219

2019(令和元)年7月4日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



図書館イベント情報

朝河貫一が文通したアメリカ人の女性たち

—福島県立図書館所蔵の書簡から—



福島県立図書館が所蔵する朝河貫一資料から、マーガレット・ダイヤモンド宛書簡、グレッチェン・ウォレン宛書簡などを中心に、朝河とアメリカ人女性との交流についてお話しします。

講師 甚野尚志 氏
(早稲田大学文学学術院教授)

日時 令和元年7月14日(日)
14:00~15:30
(開場13:00)

会場 福島県立図書館 講堂

※ 事前申込不要・入場無料



衛生学・予防医学 講演会

講演1 そのゴリラ、見えますか？

～注意・気づきで安全な生活を送るために～

講師 春日秀朗 氏

(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座助手)

講演2 ご存知ですか？福島市保健所の正体

～県型保健所と市型保健所の違い～

講師 中川昭生 氏

(福島市保健所長・福島県立医科大学臨床教授)

日時 令和元年7月6日(土) 15:00~16:40

会場 福島県立図書館3階 第一研修室

※ 事前申込不要・参加無料



展示情報

「レオナルド・ダ・ヴィンチ

芸術と科学の融合～没後500年～」

期間 7月5日(金)～9月4日(水)

場所 展示コーナー

「○○な夏の過ごし方」

期間 7月5日(金)～9月4日(水)

場所 館内中央、雑誌展示コーナー

「YA(ヤングアダルト)の本」

期間 7月5日(金)～9月4日(水)

場所 ロビー展示向かい

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『隣人ヒトラー あるユダヤ人少年の回想』

エドガー・フォイトヒトヴァンガー／著 2019.1
234.074/7㉔191

少年時代に、ヒトラーの家と道をはさんで住んでいたユダヤ人歴史家による追想記です。家族とともに幸せに暮らしていた1930年代、家の前で偶然見かける姿、真向かいの家にチラチラと動く影、道が増えていく取り巻き…。ヒトラーの姿ははっきりとはしませんが、子どもの視点と語り口で書かれており、理不尽な政策で変わっていく生活と高まる不安がより身近に感じられます。中高生から手に取りやすい一冊です。

『棉 地域資源を活かす生活工芸双書』

森下和彦ほか／著 農山漁村文化協会 2019.3
608.1/㉔193

私たちの暮らしの中でなじみの深い衣料繊維である棉。その特徴や日本における歴史、加工利用にいたるまで、棉栽培を網羅的に捉えた内容となっています。昭和41年以降、政府統計にも掲載されなくなった作付面積の現況や、東日本大震災をきっかけに広まった各地での取り組み、例えば、いわきを中心とした「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」の動きなど、最近のトピックスも盛り込まれており、明治初期に激減した棉栽培の復活が見て取れます。

『平成新語 出どころはどこ？ 平成を象徴する言葉の「起源」！』 中村 三郎／著 柏書房 2019.4
814.7/㉔194

言葉の意味は辞書を引けばわかりますが、その起源を調べるのは案外難しいものです。本書は、平成に入って社会に定着し使用されるようになった新語の意味と、その「出どころ」について解説しています。日ごろ当たり前に使っている言葉から、すでに懐かしさを感じる言葉まで、199語が収録されています。平成元年から時系列に掲載されているので、通読すれば言葉から平成時代を振り返ることができます。また索引が付いているため、辞書的な使い方することも可能です。

児童・児童図書研究

『知っていますか？ SDGs ユニセフとめざす2030年のゴール』

大山 泉／文・訳 日本ユニセフ協会／制作協力
さ・え・ら書房 2018.9 333/㉔

SDGs、日本語では「持続可能な開発目標」となるこの言葉は、国際連合で約束した17のゴールと169のターゲット、地球上に暮らすみんなのための取り決めを示します。本書では17のゴールの内容と目標とする理由、その達成にはどうすれば良いかを世界各地の子ども達の写真と共に解説しています。

雑誌・新聞

4月から県立図書館で新たにご覧いただける雑誌をご紹介します。是非ご利用ください。

『ku:nel クウネル』

第17巻第4号, 2019年7月号 Z051/K40

『和楽 [わらく] 美の国ニッポンをもっと知る！』

第19巻第3号, No. 185, 2019.6・7月号 Z051/W2

『日経ヘルス もっと健康に、もっと美しく』

第22巻第3号, 通巻273号, 2019.6 Z498.3/N2

『月刊バスケットボール The GEKKAN BASKETBALL』

第47巻第7号, 2019.6 Z783.1/G1

『月刊サッカーマガジン Monthly soccer magazine』

第54巻第8号, 通算1575号, 2019年6月号
Z783.47/S1/2-

『ベースボールマガジン Baseball Magazine』

第43巻第3号, 通算274号, 2019.6月号 Z783.7/B1

地域

『福島のこゝなんて、誰もしらねえじゃねえかよ!』

カンニング竹山／著 ベストセラーズ 2019.3
LS291.09/K27/1

第1章が「ぼくが福島に魅せられたワケ」、第2章「福島は大丈夫！安全だ！」と続きます。巻頭には、デマを払拭するために「正しい情報をちゃんと載せよう」という決意が述べられています。

第5章では、東京電力福島第一原子力発電所に実際に赴き3年前と今の現状を比較し、今後どうなっていくのかを前所長小野明氏との対談で掲載しています。

写真も多く、読みやすく分かりやすく福島を応援している本です。

『齋正機作品集 ふくしまものがたり』

齋 正機／著 求龍堂 2019.3 L721.9/S9/1

福島市出身の画家、齋正機氏の初の作品集です。

故郷・福島の風景をはじめ、鉄道のある風景や子どもを描いた絵、エッセイ、パッケージデザインの仕事、ドローイングなどが収録されています。また、震災を経た福島への思いを、同窓生であるなすび氏と語る対談も掲載しています。

あたたかなまなざしと、こまやかでやさしい筆致が印象的です。なつかしい、と思える風景を見つけることができるのではないのでしょうか。